

大阪大学図書館報

ISSN 0387-4400

Vol. 14, No. 2 June 1980

○図書館の思い出

○拠点図書館における外国雑誌の収集について

○昭和54年度 国立大学等図書館間文献複写実績

○特別図書購入一覧 (その2)

○いちょう祭展示会開催と適塾展

○教官著作寄贈図書

○本館受入参考図書

○会議

○日程

○館内の動き

○人事

図書館の思い出

植村 雅彦

西洋近世史

学生時代を通じ、またそれ以後においても、私は図書館の積極的な利用者とは言えなかった。閲覧室の一隅で館内の資料を使って熱心に調べものをしたり、日がな一日読書に精を出したりしたことが、恥ずかしくなるほど乏しいのである。だが、そうは言っても、学問で身を立てた以上は、各種各様の図書館と少なからぬかかわりをもったし、またそれらから多大の恩恵をこうむることにもなった。以下、感謝の念をこめて、私の思い出のなかにある図書館の存在を順次たどってみることにしよう。

私の中学校には、正門から入って左側に、本館とは全く切り離された形で、こじんまりした図書館が設けられていた。たしか淳信館との名称で呼ばれ、同窓会の寄贈とか聞いていた。開館は放課後で、各クラスの優等生が委員として本の出し入れに当たっていた。利用状況はよくなく、宝の持ち腐れと言えるほどであった。委員たちのエリート意識がわざわいしたのかも知れない。私も入学早々物珍しさに駆られてある本の閲覧を申しこんだが、非常にそっけない態度をとられて、すっかりいやになつたことを覚えている。

高等学校の図書館は木造平家建てのお粗末なものであった。つんとした感じの女性がひとり、いわゆる司書役を勤めていた。ところがこの御婦人、図書館の常連にはなかなか愛想がよかつたそうで、理甲の勉強家K君などはいつもやさしい言葉をかけてもらっていたと承っている。冗談はさておき外觀に以合わず蔵書は質量とともに素晴らしいとの評判であったが、それを活用できずに高校時代を終えてしまった。むしろ、逍遙に時を過すほうが、忙しかつたのである。

大学に入ると、さすがに図書館を利用するようになった。洋書の輸入が難しくなったので、大学の蔵書に頼らざるを得なかったと言える。私が入学を許可された京大の文学部で

は、哲・史・文の三学科ごとに閲覧室と書庫が設置されていた。どれもが落ち着いて勉強できる部屋であり、帳簿に氏名を記載すれば書庫に入って検索することも許された。さすがに大学だなど感じた次第である。ただひとつ弱ったのは、貸出中の本がすこぶる多かったことで、とりわけ西洋史の部門では重要な名著の大抵がどなたかおえら方のお書斎にあると思ってよかったです。若僧には勉強のしにくく時代であったかもしれない。

それにしても、何とか学問を続けることができたのは、京大に私の求める書物があったからである。文学部のみならず、うてさえあれば、法経や農経のものも借用できたから、有り難いことであった。戦後間もなく京都にアメリカ軍政部所属のライブラリーが開設され、またのちには英国文化協会経営の図書館も店を開きました。海外文献への私の渴望を両者が幾分かいやすくしてくれたことは、言うまでもない。ことに後者は、私にとって今なお重宝なライブラリーである。

終戦後5年目に私は縁あって岡山大学に赴任した。はじめのうちは研究条件も悪く、旧軍の施設に少しく手を加えたものが法文学部図書館として通用していた。しかし、30年代の始めごろには、大改造を施してじょうしゃな建物ができ上がり、それが背後にある半田山の縁とよく調和して全学最高の美観を呈することになった。外国書輸入の道が開けるに伴って本の数もぼつぼつとふえてゆき、書庫内で新購入の洋書をあれこれ手にとってながめる楽しさは格別であった。また何かと用事をつくっては司書たちの部屋に侵入し、学問のみならず天下国家のこととも議論し合ったものである。

安保騒動のあった年の翌年に私は好運にもイギリスに留学することができた。1年余に及ぶ滞在期間中もっとも足しげく通ったのは、ロンドン大学の「歴史学研究所」である。とりわけ、そのなかの「イングランド・ルーム」が、私にとってなつかしい思い出をつくってくれている。壁面にすき間なく並べられた大きな書棚から、渴望していた書物をほとんど何でも取り出せるのはうれしいことであった。はじめのうちは宝の山に入る心地がしたと言ってもうそではない。古文書類にはこの部屋で接し得なかったが、古い書体で印刷された大型版の史料がいろいろ数多くあって、ときにはため息を抑えられなかった程である。時日の経過は意外に早く多分の未練を残しながらロンドンを去った。だが、私の生涯のなかでは貴重な一年間であったと今でも思っている。

(文学部教授)

拠点図書館における外国雑誌の収集について

今日の学術情報処理も電子計算機の利用を中心に展開されている。図書館における参考業務の柱である二次資料の検索も機械可読のデータベースを利用した検索が一般化されたといっても過言ではない。これらのデータベースを利用して容易に一次情報へのアプローチができると、これまで以上に一次情報への要求が高まるのも当然の結果といえる。これら必要とする情報が国内の情報機関で入手されなければならないというのが昭和52年を初年度に文部省の施策として計画され実施された拠点図書館による外国雑誌の収集である。国立大学図書館の幾つかを拠点図書館とし、その図書館に所蔵する一次情報をベースに世界各国で生産される一次情報の国内未所蔵雑誌を網羅的に収集し、全国の研究者の情報要求に応えようとするものである。理工学系は東京工業大学、農学系は東京大学農学部、鹿児島大学で医学・生物学系は、大阪大学、東北大学、九州大学の医学図書館の3つで、本学中之島分館は医学・生物学系のセンター館となっている。

医学情報量 医歯薬関係（生物、化学の基礎科学も一部含む）分野の一次情報は、廃刊、

休刊、吸収合併されたものを合せると約50,000タイトル以上の情報がある。National Library of Medicineを含むアメリカの200の大学、病院、研究所等の総合目録であるUCMP (Union Catalog of Medical Periodicals)には約50,000種のタイトルが掲載されている。そのうち約50%の25,000種が現行タイトルであるがこの中には、定期的に刊行される年報、Directory、Reportの類も相当量収載されている。また、UCLA Biomedical Libraryでは約15,000種、現行タイトル約7,000種を受入れている。国内誌は日本医学図書館協会加盟館93館による医学雑誌総合目録：和文編、国内欧文編、華韓編第6版(昭和55年7月発行予定)では約5,100タイトル収録している。このうち現行雑誌は約40% 2,000タイトルである。これらの総合目録等からみても、約25,000~30,000種のものが現行タイトルとして刊行されているものと考えられる。

国内所蔵状況 それでは、国内の医学図書館等で収集されているタイトル数は何点ぐらいになるか調査の結果、これも日本医学図書館協会、薬学図書館協会加盟の129館の所在目録、現行医学雑誌所在目録(1979)によれば約5,700種、1979年に拠点図書館で購入した国内未所蔵タイトル約1,300種、1980年大阪大学において受入を予定している1,100種を加え合計約8,100種で、国内誌約2,000種を合計すると約10,000種が日本国内の所蔵タイトル数と推定できる。それでは、この数量のもので国内の医学研究者の要求に応え得るものかどうか、これらの調査も拠点図書館に課せられた研究課題の一つである。

収集経過 昭和52~昭和55年度 昭和52~54年度において世界で代表される次の二次資料により国内未所蔵の一次資料及び新刊誌を購入した。したがって、これらの主要二次資料に収載されている雑誌は一応カバーされたものと思われる。また私立大学図書館等にしか所蔵されていない雑誌も拠点図書館の3ヶ所で分担収集することとした。

○Biological Abstracts ○Chemical Abstracts ○Current Contents ○Excerpta Medica ○Index Medicus ○Science Citation Index ○Hospital Literature Index ○Index to Dental Literature ○International Nursing Index ○International Pharmaceutical Abstracts

さらに昭和54年末から55年にかけUCMPをもとに国内欠落誌の調査を行い、英独仏語によって出版されている医学関係の雑誌約1,100点を選び出した。一応これをもって体系的な選択作業はできたものと考えている。また一次資料のうち会議録、レポート等についても欠くことのできない情報源であり、これについては1980年度中に出版状況、所蔵状況の調査を行うことにしており、これまでの調査において考えねばならぬ点は、選び出したタイトルが一般に市販されていないものも数多くあるようで、これらは寄贈・交換による受入を積極的に行う必要があること、その場合でも個々の大学で刊行する紀要を交換誌として提供するとなると全学的な協力と支援が不可欠である。また、学際領域の細分化と広い分野に拡大されつつある情報源に対して拠点図書館間の連絡、調整がさらに重要となってくる。昭和55年度における本学

年度 購入経費別	昭和52~ 54年度	55年度
大学経費 (1種を含む)	1,036 種	1,036 種
文部省経費 (2.3種を含む)	2,350	3,450 (1,100)
合 計	3,386	4,486

* () 内は内数で55年度受入予定点数 中之島分館の外国雑誌のタイトル数は左表のとおりである。

一次情報の提供 一次情報の提供は、一大学図書館とは別に拠点図書館という責任と使命がある。文献複写サービスは、国立大学図書館間の場合、昭和54年度より実施された新方式で、従来に比し格段に能率化された処理手順で処理されている、特に医学系は私費による利用が多く、その点でも他の分野の図書館に比べ新方式による利益は大きいといえる。望

むらくは、公私立大学等に対しても文献複写経費の決済方法の簡素化が是非とも必要である。この問題も国公私立大学図書館協力委員会に文献複写委員会が設けられ検討されている。又日本医学図書館協会においても加盟館97館を対象に相互貸借事務全般にわたるアンケート調査を実施、相互協力活動の実情の調査を行っている。これら委員会の成果がどのような形にしろ改善の資となることが望まれる。

(松浦 正 整理課課長補佐)

昭和54年度 国立大学等図書館間文献複写実績について

昭和54年度から新たに実施された国立大学、高専間における文献複写の下期（昭和54年10月～55年3月）処理結果が出、4月末に複写データ処理センターから文部省及び各大学図書館等に送付した。

下期は約51,000件、上期に比べ件数で12%増、金額で25%増であった。年間合計件数は約97,000件、このうち校費は約70,000件で、従来の納入告知による支払に比べ、文部省の予算振替による一括精算方式が大きな事務合理化をもたらしたと言うことが出来る。大学図書館の依頼、受付館単位の1館あたり年間依頼件数は平均約489件、受付件数は708件であった。大阪大学における実績は下記の通りである。

1 大阪大学附属図書館

館名	依頼						受付						
	上期(4月～9月)			下期(10月～3月)			合計	上期(4月～9月)			下期(10月～3月)		
	校費	私費	計	校費	私費	計		校費	私費	計	校費	私費	計
本館	52	57	109	82	59	141	250	357	114	471	373	170	543 1,014
中之島分館	5	264	269	6	260	266	535	1,113	1,276	2,389	1,300	1,452	2,752 5,141
吹田分館	157	3	160	195	1	196	356	266	26	292	275	17	292 584
薬学部分館	35	8	43	20	20	40	83	86	13	99	86	8	94 193
人間科学部分室	55	13	68	31	29	60	128	—	—	—	—	—	—
理学部分室	94	0	94	61	5	66	160	293	25	318	362	30	392 710
基礎工学部分室	129	0	129	146	0	146	275	—	—	—	—	—	—
微研分室	19	28	47	10	22	32	79	—	—	—	—	—	—
産研分室	21	0	21	17	0	17	38	—	—	—	—	—	—
蛋白研分室	18	0	18	14	0	14	32	—	—	—	—	—	—
医短図書室	6	0	6	18	0	18	24	—	—	—	—	—	—
合計	591	373	964	600	396	996	1,960	2,115	1,454	3,569	2,396	1,677	4,073 7,642

2 相手館別

依頼 件	受付 件	本館		中之島分館		吹田分館		理学部分室	
		依頼 件	受付 件	依頼 件	受付 件	依頼 件	受付 件	依頼 件	受付 件
1 京 大 62	1 室 工 大 61	1 九大医分 74	1 徳大蔵本分 532	1 京 大 88	1 神大工分 39	1 神大医分 20	1 岡山 大 101		
2 東 大 55	2 九 大 55	2 京大医分 61	2 長崎大医分 294	2 名 大 49	2 広大工分 28	2 京 大 19	2 群大工分 42		
3 名 大 17	3 鹿 大 44	3 神大医分 49	3 京大医分 255	3 神大工分 38	2 徳島 大 28	2 名 大 19	3 北大理分 32		
4 一つ橋大 15	4 京 大 43	4 東大医分 45	4 名大医分 250	4 九 大 35	4 和 高 専 24	4 金沢 大 10	4 九 大 24		
5 広 島 大 10	5 大 教 大 36	5 岡大医分 39	5 愛媛大医分 244	5 広 大 22	5 京大工分 19	5 九 大 9	5 愛 嫁 大 23		
6 奉人文科学 5 諸東洋文文献 セントラル	6 高 知 大 34	6 東北大医分 34	6 滋 医 大 209	6 東 大 20	6 奈 高 専 17	6 東 大 5	5 徳 島 大 23		
7 東 北 大 9	7 香 川 大 33	7 広大医分 31	7 鳥大医分 151	7 神大教養分 11	7 長 崎 大 16	7 関山大農業 生物研究所 4	7 旭 医 大 19		
8 神大文分 7	8 筑 波 大 29	8 名大医分 23	8 潟大旭町分 145	8 東 北 大 9	8 鳥 取 大 15	8 岡大医分 3	8 神大工分 17		
9 大 教 大 6	9 信大工分 27	9 徳大蔵本分 21	9 山形大医分 139	9 北 大 8	8 山 梨 大 15	8 香 川 大 3	8 和 高 専 17		
10 東 荘 大 5	10 愛 嫁 大 24	10 金 沢 大 19	10 浜松医大 133	10 東 工 大 7	8 名 工 大 15	8 広 大 3	10 信大工分 16		
10 九 大 5	10 広 大 24	10 東医歯大 19			8 九 工 大 15	8 徳大蔵本分 3			
上位10館が 占める割合		38.0%	74.0%	45.7%	80.6%	36.9%	59.3%	40.9%	

特別図書購入一覧（その2）

人間科学部

年 度	資 料 名	巻・年	冊 数	備 考
昭和47年度	Psyche. (心理)	Vol. 1-11 (1948-1958)	22 Vols.	
	Demography. (人口統計学)	1964-1970	17 Vols.	
	Current Anthropology. (今日の人類学)	Vol. 1-5 (1960-1964)	22 Vols.	
	Sankhya : Indian Journal of statistics. (サンキヤ：インド統計学雑誌)	Vol. 1-22, Vol. 23-35 ser. A, B (1933-1968)	35 Vols.	
	Psyche. (心理)	Vol. 12-21 (1959-1967)	22 Vols.	
	Bibliographie de sozialwissenschaften. (社会科学書誌解題)	Vol. 1-39, 42-55 (1905-1943, 1950-1963)	53 Vols.	reprint
	International encyclopedia of social sciences. (社会科学大事典)	1968	17 Vols.	
	Journal of experimental social psychology (実験社会心理学雑誌)	Vol. 1-3 (1965-1967)	3 Vols.	
	Sociology and social research. (社会と社会調査)	1937-1947	11 Vols.	
	International Journal of social psychiatry. (社会精神医学雑誌)	Vol. 1-16 (1955-1970)	16 Vols.	
48年度	Metropolitan America. (アメリカの大都市圏)	Vol. 1-7 (1915)	7 Vols.	reprint
	Irish University Press Series of British parliamentary Papers: General Education. (英國議会議事録：教育全般)	Vol. 3-7, 9-12, 17-20, 33-34, 40-43, 46	35 Vols.	reprint
	Education Poorer Classes. (下層階級教育)	Vol. 1-4, 6-7		
	Education Scientific and Technical. (科学技術教育)	Vol. 1-8 (1968-1970)		
	Journal of Unified Science Published as: Annalen der Philosophie Philosophischen Kritik. (哲学と哲学批判雑誌)	Vol. 1-8	16 Vols.	
	Erkenntnis. (認識)	Vol. 1-7		
	Journal of Unified Science. (総合科学雑誌)	1919-1940	1 Vols.	
	Paulys Realencyclopädie der	1893-1963	49 Vols.	
50年度				

51年度	Clasischen Altertumswissenschaft. (パウリ古典・古代学百科辞典) Report of the Commissioner of Education U.S. Department of Education government Printing Office. (アメリカ政府刊行物 教 育委員会報告)	1872-1917	90 Vols.		
52年度	Deadlusi American Academy of Art and Science. (アメリカ科学アカデミー誌) Quellen und Untersuchungen zur Geschichte der Deutschen und Österrichen Arbeiterbewegung. (19世紀後半より20世紀前半の ドイツ・オーストリーの労働運動史料)	Vol. 1-64 (1846-1930)	64 Vols.	reprint	
53年度	Cumulated Subject Index to Psychological Abstracts. (心理学文献件名索引) Collection des Mouvements Soci- aux Francais. (フランス社会 運動関係雑記復刻選集)	Vol. 1-7 (1927-1971)	7 Vols.		マイクロフィルム
54年度	Granmatica Universalis. (普遍文法) American Journal of Psychology. (アメリカ心理学雑誌) 森 昭文庫	1885-1971 Vol. 1-12 (1966-1977) Vol. 1-58 (1887-1940) 1865-1976	92 Reels. 14 Vols. 64 Vols. 2,898 Nos.		reprint

いちょう祭展示会開催と適塾展

5月1日の大学創立を記念して、「大阪大学いちょう祭」が、本年も5月1日と、2日にかけて、盛大に開催された。豊中地区、吹田地区の学内施設開放、展示会、映画会等の行事があり、図書館においては、法学部・経済学部・附属図書館共催による展示会が開催された。

この展示会は、1日（木）午前11時から、午後4時まで、本館第2自由閲覧室（3階）を会場にして開かれ、学生・父兄および教職員等、約430名の参観者があった。当日は、およそ下記のような貴重図書資料を展示した。

なお、大阪大学と結びつきの深い「適塾」の修復と史跡公園化を記念して、5月27日から8月3日まで適塾記念会主催により全国4会場で「緒方洪庵と適塾展」が開催される。図書館では文献・遺物等23点を貸出した。

◎法学部

1. 鳥取藩享保律写本
2. 女大学、享保十八年版 貝原益軒
3. ヨーロッパ法学上の古
典四種 (1)ルソー「社会契約論」、モンテスキュー「法の精神」、(3)ボーダン「共和国論」、
(4)アヤラ「戦争の法と義務および軍隊の規律について」

◎ 経済学部

1. 豪商の記録（鴻池善右衛門家旧蔵）(1) 加賀藩の掛合控、(2) 広島藩の掛合控
2. 大阪

三郷の水帳 3. 埼県高札 (慶應四年三月) 柏井義夫家旧蔵 4. 上方錦絵「浪花百景」(二代目長谷川貞信画)と現代の写真 高麗橋、中之島嶋の松、金屋橋、安治川橋、松島千代崎橋、新郭松島、四ツ橋、築地蟹島、川口新大橋、心斎橋筋

◎いちょう祭委員会

1. 本学関係の文化勲章受賞者 (12人) 業績顕彰

◎図書館

1. 懐徳堂関係資料 学問所建立記録、懐徳堂定約附記、学校公務記録、懐徳堂義金簿、解師伐袁団賛、竹山先生画像、入徳門聯、聖賢扇、冽菴先生双幅、懐徳堂詩巻、懐徳堂内事記・外事記、竹山先生遺状、懐徳堂絵図屏風、逸史、越俎弄筆、紙製深衣、帰馬放牛図、已有園額、懐徳堂壁署

教官著作寄贈図書

——本館——

森 三樹三郎博 (文・名誉教授)

森 三樹三郎博士頌寿記念東洋學論集

同記念事業会編 (朋友書店 昭54)

久貴忠彦 (法・教授)

民法判例集 (有斐閣選書) 鈴木祿弥、

久貴忠彦、野村豊弘 [共] 編

(有斐閣 昭55)

林 育 (法・助教授)

法史学の存在価値 林 育著

(創文社 昭55)

宮本又次 (経・名誉教授)

大阪経済文化史談義 宮本又次著

(文献出版 昭55)

浜川圭弘 (基・教授)

太陽光発電 高橋 清、浜川圭弘、後川 昭雄 [共] 著 (森川出版 昭55)

大峯 顯 (教・教授)

フィヒテ研究 大峯 顯著

(創文社 昭51)

紺碧の鐘 大峯あきら著

(牧羊社 昭51)

井上 薫 (教・教授)

近世の摺河原 井上 薫著

(創文社 昭55)

古代史の群像 井上 薫著

(創文社 昭55)

日本古代の国家と宗教 上・下 井上 薫
教授退官記念会編 (吉川弘文館 昭55)

——理学部分室——

千原秀昭 (理・教授)

物理化学 下 Atkins, P. W.著 千原秀
昭、中村亘男訳 (東京化学同人 昭55)

——中之島分館——

猪木令三 (歯・教授)

歯科薬理学 Cowan, F. F.著 小倉保己、
猪木令三監訳 (広川書店 昭55)

——吹田分館——

塩川二朗 (工・教授)

無機工業化学 塩川二朗編
(化学同人 昭55)

上田 篤 (工・教授)

都市の文化行政 上田 篤編
(学陽書房 昭54)

——薬学部分館——

北川 熱 (薬・教授)

生薬学 北川 熱著 (広川書店 昭55)

平岡栄一 (医病)

薬学領域の高カロリー輸液
(医薬ジャーナル社 昭55)

本館受入参考図書

(昭和55年3月～4月)

◇ 総 記 ◇

全国図書館案内 上・下 書誌研究懇話会編
(三一書房)

Introduction to United States public
documents. by J. Morehead. 2d ed.

(Libraries Unlimited)

Government publications. by V. M.

Palic. (Pergamon Pr.)

Index bio-bibliographicus notorum

hominum. Pars C. Vol. 12-13. Ed.

by Jean-Pierre Lobies. (Biblio)

政治・社会問題に関する10年間の雑誌文献
目録 昭和40年～49年
(日外アソシエーツ)

Bibliografia nazionale italiana. Vol.20
(1977)

Paperbound books in print. 1978.
(Bowker)

The publishers' trade list annual
1979. (Bowker)

辞典・事典総合目録1980(出版ニュース社)
Index translationum. 1975 (UNESCO)

Catalogue général des livres imprimés
de la Bibliothèque Nationale.
Tome 214/vol. 1-2.

(Imprimerie Nationale)
Ulrich's international periodicals di-
rectory 1979-1980. 18th ed. (Bowker)

◇ 哲 学 ◇

Encyclopedic dictionary of religion.
Ed. by P. K. Meagher. (Corpus)

天理教事典 (天理教道友社)

仏教史年表 (法藏館)

◇ 歴 史 ◇

日本占領文献目録 (日本学術振興会)
Encyclopaedia of Asian civilizations.

Vol. 4. by Frédéric, L.
(Jean-Michel Place)

朝鮮史年表 高秉雲、鄭晉和共編
(雄山閣出版)

近代中国・日中関係図書目録 市古宙三編
(汲古書院)

国立国会図書館著者名典拠録 明治以降日
本人名 (紀伊国屋書店)

Who's who in America 1976-1977.
39th ed. (Marquis)

◇ 社会科学 ◇

How to find out about the social sci-
ences. by G. Burrington. (Pergamon)

Use of social sciences literature. ed.
N. Roberts. (Butterworths)

法学基本書案内 清水英夫他編
(日本評論社)

A Bibliography on foreign and compara-
tive law. by C. Szladits.

(Oceana Pub.)

憲法関係判例評釈文献目録 法務省編
(法曹会)

行政法辞典 杉村章三郎、山内一夫編
(ぎょうせい)

経済学辞典 大阪市立大学経済研究編 第
2版 (岩波書店)

大月経済学辞典 (大月書店)

The use of economics literature. ed. by
J. Fletcher. (Butterworths)

英和和英 経営経理辞典 企業経営協会編
新訂版 (中央経済社)

社会教育ハンドブック 社会教育推進全国
協議会編 (総合労働研究所)

国際児童年ハンドブック 羽仁説子編著
(現代出版会)

◇ 自然科学 ◇

Scientific and technical information
sources. Ching-Chih Chen. (MIT Pr.)

Handbook for authors of papers in
American Chemical Society publica-
tions. (American Chemical Society)

Information sources in science and tech-
nology. by C. Parker (Butterworths)

Use of mathematical literature. ed. A.
R. Dorling. (Butterworths)

Use of physics literature. ed. Herbert
Coblans. (Butterworths)

Encyclopedia of bioethics. ed. Warren
T. Reich. (Free Press)

菌類図鑑 上・下 宇田川俊一[ほか]著
(講談社)

医学文献の探し方 (日本医書出版協会)

◇ 工学・技術 ◇

コンピュータ英和和英辞典 日本ユニバッ
ク編 (共立出版)

共立総合コンピュータ辞典 日本ユニバッ
ク総合研究所編 (共立出版)

Use of engineering literature. ed. K. W.
Mildren. (Butterworths)

◇ 文 学 ◇

Modern Japanese literature in transla-
tion. comp. by Kokusai Bunka
Kaikan. (Kodansha International)


会議

——附属図書館豊中地区運営委員会——

55. 3. 12. 13:30~14:50 (本館会議室)

報告事項 前委員会で了承された、「大阪大学附属図書館豊中地区運営委員会規程」の一部改正について、昭和54年12月19日付にて施行された旨説明があった。

協議事項 1. 昭和55年度基本参考図書の選書及び要求順位について、種々検討の結果、原案通り要求することになった。

2. 現委員長理学部千原教授の任期満了にともない、次期委員長に経済学部渡辺教授が推薦され満場一致で決定した。

——分館長会議——

55. 3. 12. 15:00~17:30 (館長室)

協議事項 1. 昭和55年度図書館事業費予算要求について、種々検討の結果、原案通り要求することになった。

2. 国立学校施設長期計画書提出にともなう図書館の長期計画については、原案通り了承された。

——図書館委員会——

55. 3. 21. 15:00~17:00 (本館会議室)

報告事項 昭和54年度図書館資料「大型コレクション」購入費で Judaica (ユダヤ研究コレクション)を購入したこと、学術審議会より「今後の学術情報システムの在り方について」の最終答申があったこと、またこのたび大阪大学が CASSI 協力館となったこと等の説明があった。

協議事項 昭和55年度図書館事業費案が種々検討の結果、原案通り承認され、要求することになった。


日程


55. 3. 7.	第2回国公私立大学図書館協力委員会文献複写委員会	(京都教育大学)
55. 3. 10.	学術情報システムに関する大学図書館関係者との連絡会議	(文部省)
55. 3. 11.	外国雑誌拠点図書館会議	(文部省)
55. 3. 14.	昭和54年度第2回 近畿地区国公立大学図書館協議会図書館(学)関係文献に関する調査委員会	(神戸市外国语大学)
55. 3. 12.	附属図書館豊中地区運営委員会	(本館会議室)
55. 3. 12.	分館長会議	(館長室)
55. 3. 21.	図書館委員会	(本館会議室)
55. 3. 28.	昭和54年度第2回 近畿地区国公立大学図書館協議会企画委員会	(京都大学)
55. 4. 25.	近畿地区国立大学図書館協議会	(京都大学附属図書館)
55. 5. 9.	第3回国公私立大学図書館協力委員会文献複写委員会	(和歌山大学)
55. 5. 14.	昭和54年度第4回 国立大学図書館協議会常務理事会	(東京大学)
55. 5. 15.	昭和55年度国立大学図書館協議会賞受賞者選考委員会及び昭和54年度第3回国立大学図書館協議会理事会	(東京大学)
55. 5. 16.	昭和54年度第3回 国公私立大学図書館協力委員会	(名古屋大学)
55. 5. 30.	昭和55年度国立大学附属図書館事務部課長会議	(国立科学博物館)


館内の動き

大阪大学附属図書館業務機械化検討委員会

毎月第2金曜日に開催されている検討委員会においては第4回(55.3.11.)報告者山下:関西大学図書館学術雑誌管理システム、第5回(4.11.)報告者茂幾:広島大学附属図書館逐次刊

行物オンライン処理、第6回(5.9.)報告者故選：受入業務・図書館管理業務(科研トータルシステム、筑波大学附属図書館情報処理システム)の各事例研究報告があった。逐次刊行物の範囲、オンラインによる本館・分館の集中管理システムの問題、等々種々な角度から検討、討議された。

また、人事異動により永芳弘武閲覧課長が新委員長となり、小山靖裕(和漢書目録掛)、河崎戎三(理学部分室)が新たに加わった。

図書館オリエンテーション

4月9日入学宣誓式当日山田館長により新入生を対象とした図書館概要についてのオリエンテーションが行われた。また、4月21日から一週間、館内オリエンテーションがあり閲覧、参考部門から図書館利用の説明と館内案内を行なった。参加者数は251名であった。

プログラム講習会

図書館職員の電算機に対する理解を深め、今後の図書館業務機械化を一層促進するため、参考掛情報管理室担当職員により講習会が開催されている。期間は5月～8月までの4ヶ月間。毎週火曜日に講義を行ない、プログラムの作成及び機械実習等は昼休み、土曜日午後を利用して、本館・分館の職員多数の参加により、熱心に行なわれている。

附属図書館事務部組織変更

昭和55年5月1日付けで閲覧課閲覧第三掛(理学部分室)を設置した。

人　　事

来訪者

55. 3. 25. 本郷 太郎 岡山大学附属図書館事務部長
 55. 3. 26. 斎藤龍太郎 広島大学附属図書館閲覧課長
 55. 3. 27. 林 良平 京都大学附属図書館長

職員の異動.

55. 3. 6.	辞職 角森 正雄	閲覧課参考掛事務補佐員
55. 3. 10.	ク 山崎 堅司	中之島分館運用掛事務補佐員
55. 3. 30.	ク 小井関礼子	中之島分館目録掛事務補佐員
55. 3. 30.	ク 山本 陽子	中之島分館受入掛事務補佐員
55. 4. 1.	配置換 井上 明大	奈良女子大学厚生課長(閲覧課長)
55. 4. 1.	ク 永芳 弘武	閲覧課長(九州芸術工科大学附属図書館事務長)
55. 4. 1.	昇任 岩渕 恭幸	奈良女子大学附属図書館受入掛長(閲覧課閲覧第一掛主任)
55. 4. 1.	配置換 右近喜志正	医学部附属病院庶務第一掛主任(整理課庶務掛主任)
55. 4. 1.	転任 岩本 博	中之島分館目録掛(京都大学医学図書館整理掛)
55. 4. 10.	配置換 横本 吉幸	整理課庶務掛主任(経済学部庶務掛主任)
55. 4. 10.	採用 津田 綾子	中之島分館目録掛事務補佐員
55. 4. 10.	ク 谷口みづ子	中之島分館受入掛事務補佐員
55. 4. 15.	ク 野口富士栄	中之島分館運用掛事務補佐員
55. 4. 19.	辞職 梅田 栄子	整理課和漢書目録掛事務補佐員
55. 4. 30.	採用 中島 宏	閲覧課参考掛事務補佐員
55. 5. 1.	配置換 津田 恭司	閲覧課閲覧第一掛長(整理課和漢書目録掛長)
55. 5. 1.	ク 河崎 戎三	閲覧課閲覧第三掛長(閲覧課閲覧第一掛長)
55. 5. 1.	採用 坂田麻美子	整理課和漢書目録掛事務補佐員
55. 5. 19.	ク 竹内 美子	吹田分館受入掛事務補佐員